

8 玉縄民俗資料館のリニューアル事業

（団体）課題として、担当課の職員が異動で変わってしまうので、連絡は密にとっていたが、話し合いが前後してしまうことがあった。

（担当課）文化財を通じた地域の再発見が成果である。文化財の公開活動は所有者の責務であり、先ほども協働の枠組みの問題があがっていたが、この事業は助成事業の方が向いていたと思う。リニューアル事業が、現在、活用事業というようにレベルアップしている。継続事業という形ではなくて、再度議論していただく必要があると考えている。支出については、細かいところまで相談していただいております、間違いがないと考えている。協働事業とは、お互いの協議のなかで、内容が変化する。そういうわけで、予算をがっちり決めてしまうと困ってしまう。

（意見）一番成果が目に見える事業であったと思う。歴史的・民俗的なものをどのように市民に見てもらおうかということが、行政・市民の課題である。500周年を迎え、今後一歩一歩進めていってほしいと思う。

（団体）会計の一覧（月別）をつくっている。・・・私たちは場所づくりをしていくので、市民活動団体の方がイベントなどで利用していただけると嬉しい。

（意見）いいものができたので、どんどん利用してほしい。

（意見）評価シートをみると、△から始まっているが、協働事業の効果の項目が○でよかった。

以上